

5/4.5 Hirado City Photo News
子どもたちが大はしゃぎ



「第21回平戸海道渡海人まつり」が平戸大橋特設会場で開催されました。3日はあいにくの雨で中止になりましたが、4日と5日は晴天に恵まれ、観光客や家族連れなど2日間で約3万人のお客さんでにぎわいました。会場では、毎年恒例のタコのつかみどりや、地引網体験など、子どもたちに大人気のイベントが開催されたほか、市内の各事業所が出店した「渡海人つまかもん物産展」には、平戸の事業者や、飲食店などが出店し、多くの方が平戸の特産品などを買い求めていました。

4/23.24 Hirado City Photo News
たびらの春の風物詩



「第39回たびら春まつり」が今年から田平港平戸魚市敷地一帯に会場を移し開催され、2日も観光客や家族連れなど多くのお客さんでにぎわいました。会場では、ながさき和牛(田平産牛)や農産物、活魚、鮮魚の水産物、農水産物加工品、園芸品などが販売されました。また、ステージでも職人組合による親子de工作大会や各種ダンス、ローカルヒーローズによる歌の披露などのイベントが行われ、来場した約1万2,300人のお客さんはまつりを満喫していました。



4/28 Hirado City Photo News
元気に生活してます



生月町の山本ハルさんが100歳のお誕生日を迎え、黒田市長が自宅を訪れ、花束と記念品を贈り長寿を祝いました。山本さんは、若いころから農業をしており、数年前までは草むしりをするなどしていました。現在は、子どもや孫と一緒に生活しており、最近も孫やひ孫が取ってきた「つわ」と一緒に手を黒くしながらむくなど、元気に暮らしています。お祝い式では、自ら立ち上がり、賞状や花束の贈呈を受け「どうもありがとうございました」とはっきりとした声で述べていました。

4/23.24 Hirado City Photo News
趣向を凝らしたおもてなし



旧武家屋敷や旧家の庭などを一般公開する「第15回 平戸お庭めぐり」が岩の上町や田平町など市内8カ所で開催されました。旧家の中には、国の有形文化財に登録されている住宅もあり、庭には八重桜やつつじなどの花が見ごろを迎えていました。それぞれの屋敷では、趣向を凝らしたおもてなしで訪問客を迎えていました。訪れた人は「各庭園にそれぞれの風情があり、1日で巡ることができてとても有意義でした。また来年も来たいですね」と話してくれました。

4/23 Hirado City Photo News
小雨の中でも元気な足どり



平戸港交流広場を出発し、最教寺や川内峠、ライフントリーなどを巡る九州オルレ平戸コースを歩く「平戸春風オルレ」が開催され、市内外から169人が参加しました。この日は、小雨とあいにくのコンディションになりましたが、参加した皆さんは足元が悪いにもかかわらず足どりも軽やかに、元気に春の平戸路を歩きました。途中には、お弁当やうちわ海老の味噌汁、平戸スイーツなどが振舞われ、平戸グルメに舌鼓を打っていました。

4/22 Hirado City Photo News
平戸つつじの香りを感じて



市総合運動公園多目的グラウンドと赤坂野球場で「平戸つつじグランドゴルフ大会」が開催され、市内外から関係者など合わせて、約500人が参加しました。今回の大会で最高齢者は、男性が今福クラブの松元時男さん(92歳)と女性が松浦前田クラブの今村チエさん(91歳)で、2人とも元気に汗を流していました。【優勝者は以下のとおり】樋渡正秋(佐世保花高GGC)【多目的グラウンド会場】原 捷洋(平戸ホワイトクラブ)【赤坂野球場会場】

5/22 Hirado City Photo News
白熱した地区対抗戦



生月町勤労者体育センターグラウンドで「第44回生月町町民運動会」が開催されました。保育園児から一般までの皆さんが参加し、学年別の短距離走や、長縄跳び、むかで競争、職場対抗リレーなど21種目が行われました。特に地区対抗の種目では、この日に向けて各地区で練習した成果を出そうと、出場した皆さんは必死に頑張っていました。最後の種目である一般の地区対抗リレーでは、この日一番の盛り上がりを見せ、観客の皆さんも自分の地区に一生懸命声援を送っていました。

5/14 Hirado City Photo News
奥平戸産の特産品に子どもから大人まで大満足



志々伎漁協と福田酒造で「お魚まつり&酒蔵開き」が開催されました。当日は、天候もよく、朝早くから地元市民や観光客も大勢訪れ、お魚まつりでは、サザエや魚のつかみどり、マグロの解体ショー、海鮮バーベキューなどが行われ、大勢の子どもから大人まで参加していました。また、酒蔵開きでは、酒蔵見学や新酒の試飲や販売、もちまきなども行われました。訪れたお客さんも平戸の新鮮な地魚や地酒を堪能しながら、奥平戸のお祭りを楽しんでいました。



5/20 Hirado City Photo News
お茶と禅のルーツは平戸から



千光寺で「献茶式」が行われました。茶娘が、注いだ今年の新茶を千光寺の住職がご神前に献茶しました。その後、来賓の人たちにもお茶が振る舞われ、今年の新茶の味をたしなんでいました。また、会場では臨済宗の開祖栄西が伝えた日本最初の茶畑「富春園」および禅の発祥の地「富春庵」の見学をはじめ、呈茶の振る舞い、県内の新茶の飲み比べ、座禅体験なども行われていました。平戸幼稚園の園児たちも、座禅体験や呈茶を体験し「このお茶、ちょっと苦いけどおいしいね」と笑顔で話していました。

5/8 Hirado City Photo News
平戸の伝統ある酒蔵開き



森酒造場で「酒蔵開き」が開催されました。会場では、毎年恒例の樽酒などのふるまい、日ごろは見ることも出来ない酒蔵の中の見学、大人から子どもまで参加したもちつきや着物散策に加え、今年は平戸出身で、佐世保市などで活動中の「よりこ」さんによる生ライブコンサートも行われました。また、市内の業者による特産品などの販売も行われ、訪れた人たちは新酒の味を堪能しながら、平戸の食材や商品などを見たり酒蔵の雰囲気を楽しんでいました。

5/4 Hirado City Photo News
風情ある庭園に魅了



棲霞園と梅ヶ谷津偕楽園で特別公開が行われました。これは、両庭園が平成25年に国の名勝に指定されたことを記念し、所有者の協力を得て実施され、市内外から約250人の参加者がありました。この日は、市と両庭園の保存整備事業に関する協定を締結している南九州大学(宮崎県)の学生らが絵図面を使いながら庭園の説明を行いました。参加者の一人は「学生が熱心に説明してくれたので、両庭園についてよく理解することができました」と話してくれました。

4/30 Hirado City Photo News
お城の敷地で春茶会



平戸城で「春茶会」が行われました。会場では、天守閣の展望所と本丸2カ所で、鎮西流による抹茶や菓子を振る舞い、訪れた来場者に春の陽気なひとときを過ごしていました。今回、平戸城を運営する市振興公社が、素晴らしい景色と趣あるこの平戸城で、お茶を楽しんでもらおうと、初めて企画しました。訪れた観光客は、「全国にいろんなお城がありますが、今回のように天守閣(展望所)でお茶を体験できるようなところは、珍しいですね」と抹茶を味わいながら話していました。